

ご卒業おめでとうございます

今年は数年ぶりの大雪でしたが、このところは暖かい日が続き、ここ温湯地区でも春の息吹が感じられるようになりました。

今年度は小学部4名、中学部2名、高等部3名が希望を胸に次のステージへ進みました。新しい進学先、進路先でのさらなる成長と活躍を応援しています。また、これまで子どもたちをしっかりとサポートしていただいた卒業生保護者の皆様にもお祝いを申し上げます。

卒業生の進路は以下のとおりです。

～小学部卒業生～

進 学	本校中学部・・・・・・・・・・4名
-----	-------------------

～中学部卒業生～

進 学	本校高等部・・・・・・・・・・2名
-----	-------------------

～高等部卒業生（内定先）～

一般就労	オリンパスサポートメイト 株式会社青森事業グループ（黒石市）・・・1名
進 学	障害者職業訓練校（弘前市）・・・・・・・・1名 櫻舞う郷本部（グループホーム）を利用します。
生活介護	黒石苑（黒石市）・・・・・・・・・・1名

オリンパスサポートメイト株式会社青森事業グループは、オリンパスの特例子会社です。ここでは、障害のある方たちが社内清掃を中心に、1日約7時間半勤務しています。もちろん正社員としての採用です。

うちの子だったらどうか...

小・中学部の保護者の方にとっては、まだまだ先のこともかもしれません。高等部の保護者の方であれば、個人面談でも進路についての話題も出ますので「うちの子はどうするかな...」と考えている方も多いと思います。

去年の保護者進路研修の際にもお話ししましたが、“子どもたちの将来を考える”ということは、自分たち“親の老い”を考えるのと同じなのです。老後の準備といってもピンと来ないかもしれませんが、親亡き後の我が子の生活については、かなり前から準備しなければ間に合いません。将来、グループホームに入居しなければならなくなってから、あれもこれも「明日から一人でやってね!」といっても無理ですよね。

親が急に入院したり、家族の手術付き添いで家を留守にしたり...等といったことも、いつやってくるかも分かりません。何も準備していなければ、親も子も不安になることでしょう。

「何から手をつければ?」と迷ったら、「進路だより」を読み返したりインターネット等で情報収集したりすることで、「うちの子だったらこれがよいかも!」と考える材料を少しずつ増やしていきましょう!

うちの子なら...



子どもの将来・準備



親の老後・親亡き後の準備